

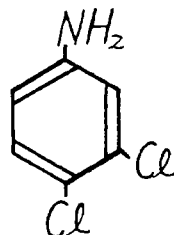
### 3,4-ジクロロアニリンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年10月1日～昭和51年12月11日

2. 試料名 3,4-ジクロロアニリン (試料No K-243)

分子式  $C_6H_3Cl_2N$

構造式



性状 溶解度 水に不溶 アルコールエーテルに易溶  
ベンゼンに微溶 (提示資料による)

### 3. 試験方法及び条件

環保業第 5 号  
薬 発 第 615 号  
49 基局第 392 号  
微生物等による化学物質の分解度試験による

#### 3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

#### 3.2 酸素消費量測定

3.1 の記録による

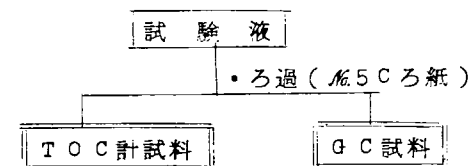
#### 3.3 生分解試験後の直接定量法

##### (a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

### (b) 分析試料の前処理



### (c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC 計)

流速 TC 回路 200 ml/min

温度 TC 炉 900℃

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 10% PEG-20M/クロモソルブ W

ガラスカラム 2 mmφ × 1 m

カラム温度 205℃

### 4. 試験結果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
TOC 計による結果	3.0	2	1
GC による結果	1.4	3	2

### 5. 備 考

クローター取出時の pH は次のとおりであつた。

㊦ 水 + 試料 6.3

㊧ 水 + 試料 6.4

㊨ 汚泥 + 試料 7.0

㊩ 汚泥 + 試料 6.9

以 上